

#FoT-928:スプリガン:守り人／Spriggan: Guardian

<Translated 20/Jan/2023>

Among the Spriggans that have evolved independently from Europe to Reesia, the "Guardian" type is a relatively common type.

The individual that Ozakefu met seemed to be guarding the entrance to the underground forbidden land that spreads right under a certain big tree.

欧州から裏州《リージア》にわたって独自の進化を遂げたスプリガンの中でも、「守り人」型は比較的一般な種類である。

オーザケフが出会った個体は、とある大樹の真下に広がる地下禁足地の、入り口の警護を行っていたらしい。

Category: 有知性存在／森の妖精の一種。

Attribute: 反対／結構純粋な妖学的存在である。

Location: T-No.242／モルレの森／大樹近隣【242-MIF-60642】

Appendix: 世界テクニジカのスプリガンたちの間には、「受動的であることが”自然”状態である森／草木の秘める反抗の意思が、私たちを生み出した」という信仰が根付いている。